

特別活動

○ 全体構想

- (生徒の実態)
- ・ 諸活動で仲間と関わり合いながらよりよい学校生活を送ろうとする生徒が多い。
 - ・ 係や当番活動に真面目に取り組む生徒が多い。
 - ・ 他者に対して、自分の考えや気持ちを表現することが少ない。
 - ・ 協力して行う活動は得意な一方で、リーダーシップが必要な場面での決断や責任を避けたがる。

学 校 教 育 目 標
心豊かで、創造力と実践力のある自立した人間の育成 【友愛】 品位があり、友愛の精神に満ちた生徒 【創造】 自ら学び、創造的な知性を身に付けた生徒 【剛健】 希望をもち、剛健な心身で生きる生徒
特 別 活 動 の 指 導 目 標
望ましい集団活動を通して、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度と、自己を生かす能力を身に付けた生徒を育てる。
特別活動の指導重点目標
自主的、実践的に取り組み、集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、よりよい人間関係を築き、自己実現を図ろうとする生徒を育てる。

- (育成すべき資質・能力)
- ◇多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
 - ◇集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
 - ◇自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

- 本 年 度 の 重 点
- ① 生命と人権尊重を基盤に、集団の向上を目指す活動を通して、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築く力、仲間と協働して取り組む力を育てる。
 - ② 豊かな体験活動や自主的・自治的な活動を通して、進んで発言、活動しようとする意欲や実践的な態度を育てる。
 - ③ 一人一人が集団の中で自己を生かせるように、生徒の思いや考えが交わされる場を設定する。
 - ④ 目標を明確にして活動させ、活動後には集団や自己の高まりを実感できるように振り返りの機会をもつ。

一人一人のよさや個性を生かし、自主的、実践的な活動を推進する		
学級活動	生徒会活動	学校行事
「学級や学校における生活づくりへの参画」 ・ 一人一人の願いや思いを基に、学級としての議題選定や話し合い、合意形成と実践を重視し、生徒が自分らしさを発揮して取り組む。 「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」 ・ 自己の生活上の課題を解決するために、意見を出し合う場を設定し、一人一人の課題の理解と自覚を促し、意思決定して、実践する。 「一人一人のキャリア形成と自己実現」 ・ 個々の生徒の将来に向けた自己実現に関わる内容を取り上げ、一人一人の個性を生かし、主体的な意思決定に基づく実践を行う。その際、「キャリアパスポート」を活用する。 ・ 朝のプログラム活動の時間における話し合い活動の機会を生かし、学級の一員としての所属感や連帯感を高め、集団生活を充実・向上させようとする態度や実践力を育てる。 ・ 一人一人の個性を認める場や共同して取り組む活動を工夫し、共に高まろうとする望ましい人間関係を築く。	・ よりよい学校生活を送るための自分の思いや考えを言葉にし、それを行動や実践につなげようとする態度を育てる。 ・ 委員や代議員を中心とした話し合い活動や集会活動を通して、学校生活の充実と改善向上を図り、学校への所属感を深める。 ・ ボランティア活動等を通して社会参加への意欲を高める。	・ 体験的な活動を通して、よりよい学校生活を築き、集団への所属感や連帯感、公共の精神を養う。 ・ 各行事のねらいを明確にして、活動内容と運営方法を工夫するとともに、生徒の自主的、実践的な活動を促し、成就感を味わえるように取り組む。 ・ 異年齢集団による組織的な活動を通して、規律、共同、責任、思いやり等の心を育てるとともに、集団への所属感や連帯感が味わえるように取り組む。 ・ 実施後の感想や作文を発表させたり、掲示したりするなど、生徒が互いに伝え合う環境や地域に対して発信する機会を整え、指導の効果を高められるよう取り組む。

1 年	2 年	3 年
・ 話し合い活動や自発的、自治的な活動を通して、適切な言葉遣い、聞く姿勢、他者を尊重する態度が身に付くよう指導援助する。 ・ 一人一人のよさや個性を生かして自主的に活動できる活動の展開を工夫し、互いのよさを認め合い、高め合える学級づくりに努める。 ・ 学年や学級の諸活動を通して、生徒一人一人が目当てをもって主体的に活動できるような場を多く設定する。	・ 中学生としての在り方や時間の使い方を考え、進んで物事に取り組んでいこうとする態度を育てる。 ・ 一人一人のよさや個性を生かして、自主的に活動できる活動を工夫し、自分の現在及び将来の生き方への自覚を促す。 ・ 話し合い活動を充実し、集団としての意見をまとめ、決定・実行する場を継続的に位置付ける。	・ 最上級生として、学校行事や生徒会活動において、見通しをもち、積極的に取り組むことができるように指導援助する。 ・ 一人一役を前提として、自主的に自己の責任を果たし、他者と共同して活動する場を数多く設定し、成就感がもてるように指導援助する。 ・ 将来の生き方についての考えを深め、自分らしい生き方を主体的に選択しようとする態度を育てる。

< 日常的な指導実践の場 > 基本的生活習慣の形成と望ましい人間関係の形成

- ・ 登下校 生徒会やPTAを中心とした挨拶運動
- ・ 休み時間 友達との友好関係の構築、時間を意識した行動
- ・ 清掃活動 縦割り清掃
- ・ 給食 望ましい食習慣、好ましい人間関係や感謝の気持ち
- ・ 係や委員会の日常活動 一人一人の活動への支援、認め、励まし

◎家庭・地域・学校の一体化
◎小学校との連携

◎温かい人間関係
◎温かい学級・つながり
◎生徒と教職員との信頼関係

◎全教職員の共通理解による
協力体制